

参考資料

【東南アジアの在住日本人数推移と日系企業数】

国名	在住日本人数		日系企業数 (2014年)
	2009年	2014年	
シンガポール	24,548人	+47% 35,982人	約2,000社*
マレーシア	9,705人	+227% 22,056人	1,347社
タイ	47,251人	+36% 64,285人 (世界第5位)	4,473社*
インドネシア	11,701人	+53% 17,893人	1,766社
ベトナム	8,543人	+59% 13,547人	1,452社
香港	21,297人	+27% 27,146人	約1,500社*

出典：外務省「海外在留邦人数調査統計 平成27年要約版」
(*は「COMM HOLDINGS」調べ)

【東南アジアと寄り沿う「コム・ホールディングス」の生い立ち】

— 代表取締役社長 森玲雄那(もり れおな)インタビュー

我々の歴史は、1980年、グループ社主の森幹雄が、シンガポールで国際引越し会社「クラウンライン」を創業したことから始まります。

35年前、「政府が打ち出した政策の転換によって、日本の製造業の輸出振興や貿易の自由化から原材料の輸入が活発になりました。日本国内の労働力不足や賃金上昇が目立ち始めました。これからは日本企業の海外進出が増えるだろう。特にアジアへ進出する」という先見の明をもっていた社主は、日本企業が海外へ進出する際の日本人の海外引越しを専門とする「クラウンライン」をシンガポールで創業。その後、マレーシア、タイ、インドネシアなどへ拡大していきました。同時に、海外生活に慣れない日本人のために、日本語で制作した電話一覧表を顧客に配布したところ、これが好評。そこで1991年、出版部を分社化して「COMM(コム)」をシンガポールに設立。現在では、6カ国で15万部を発行する日本語ガイド「ハローシリーズ」を創刊致しました。アジア各国の生活とビジネス情報を発信する無料誌の出版に加え、通訳・翻訳、イベントの企画運営、映像制作など、顧客ニーズに沿った事業拡大により、**東南アジアにおける日系最大の【トータルメディアカンパニー】**としての地位を確立いたしました。2014年11月、近年の東南アジアへのポテンシャルの高まりを受け、同地域を「ひとつの市場＝面」と捉え、各国支社をホールディングス化した「COMM HOLDINGS(コム・ホールディングス)」が誕生いたしました。そして本リリースのとおり、2015年9月には、「ハローシリーズ」を『ハローアジア』として統一化、ユーザーの利便性を考慮したバージョンアップを行いました。これにより、東南アジアに住む日本人と企業、今後進出を目指す日本企業にとってより有益な情報を提供するプラットフォームの拡充を実現しました。今後はさらにカバー地域を拡大予定ですので、これからも弊社グループ及び「COMM HOLDINGS」にどうぞご期待下さい。

COMM HOLDINGS PTE. LTD.
代表取締役社長 森 玲雄那

【本件に関するお問合せ先】
COMM HOLDINGS PTE. LTD.

担当：財津(日本事務所) Tel:090-9989-5232 / Email:kanade@comm.holdings
URL:www.comm.holdings